

小松 寿・亀谷 寿彦

心臓手術における使用血液の節減のために、術後自家血輸血を10例に施行した。その結果7例が完全無血手術に成功し、それによると思われる副作用は見られず、血液、生化学検査においても特別な異常はなく、非常に有用であったので報告した。

58. 川崎病冠動脈瘤に対するACバイパス術後に生じた急性硬膜外血腫の1例

A case of acute intracranial epidural hematoma following open heart surgery.

(東京女子医科大学第二病院心臓血管外科)

水原 章浩・須磨 幸蔵・  
竹内 靖夫・城間 賢二

7歳男子のCABG術後合併症として、急性硬膜外血腫を経験した。緊急CTで診断し、緊急開頭血腫除去術にて救命しえた。発生機序として、忘れられた外傷の既往、人工心肺中の低凝固能および体液、浸透圧の急激な変動による硬膜血管の破綻等が考えられた。

15:54~16:25

座長 細田 泰之(順天堂大学)

59. 本邦最高齢57歳総肺静脈還流異常症の治験例  
TAPVD treated successfully in a 57-year-old woman—the oldest case reported in Japan—

(帝京大学医学部第二外科)

原 直・三石 績・岡野 隆・  
中島 博・小関 雅義・鈴木 隆三・  
赤坂 忠義

本邦における報告例中最長年齢にある57歳女性の総肺静脈還流異常症(Darling分類:Ia型)に対し、Gersony-Malmの心房横断法によって根治術を施行したので報告した。

60. 心房中隔欠損を伴わない両側上肺静脈還流異常の1手術例

Surgical correction of bilateral anomalous superior pulmonary venous connection with intact atrial septum.

(自治医科大学胸部外科)

堀見 博之・吉田 一郎・大林 民幸・  
木村 壮介・小藤田敬介・長谷川嗣夫  
(同小児科) 柳沢 正義・倉松 俊弘

14歳の女子、右上肺静脈に心房中隔形成により、左肺静脈は代用血管を用いて根治手術を行った。

61. PLSVCを合併するPAPVC手術症例の検討。  
—右上大静脈の新しい再建方法—

A new surgical approach for correction of PAPVC into right SVC with PLSVC.

(東京大学胸部外科)

感瀬 好洋・岡部 英男・松永 仁・  
中島 淳・古瀬 彰

部分肺静脈還流異常には多くの術式が報告されているが、術後静脈再建部位の閉塞および心調律不全が問題となっている。われわれは、左上大静脈を伴い、右上大静脈に還流するPAPVCに対して右心耳を用い右上大静脈を形成し良好な結果を得たので報告する。

62. 肺静脈還流異常を伴う肺葉内肺分画症の1例  
—scimitar syndromeとの関連について—

A case of intralobar pulmonary sequestration with anomalous pulmonary venous drainage.

—in references to scimitar syndrome—

(日本大学第二外科)

大畑 正昭・奈良田光男・飯田 守・  
伊良子光正・北村 一雄・名取 宏・  
畑 博明・長坂不二夫・一和多雅雄・  
鈴木 克行・山本 知則・瀬在 幸安

43歳女性、大動脈造影にて腹部大動脈より上行する異常動脈と右下葉より下大静脈に流入する異常静脈を認め、手術により確認した。本症は肺分画症としては極めて稀で、scimitar syndromeとの関連について考察する。

63. 術前診断に難渋した肺内肺分画症の2切除例

The two surgical cases of intralobar pulmonary sequestration which were difficult to diagnose preoperatively.

(三井記念病院呼吸器センター外科)

奥村 栄・宮元 秀昭・福田 宏  
(同病院外科) 鱒淵 康彦・大谷 五良  
(埼玉医大第一外科) 金子 公一  
(国立がんセンター外科) 呉屋 朝幸

今回我々は、術前に原発性肺癌を疑った症例と、転移性肺癌を疑った症例に対し、術前病理組織学的診断が得られず、開胸肺生検にて肺内肺分画症と診断した2症例を経験した。文献的考察を加え報告する。

16:25~17:24

座長 山口 豊(千葉大学)

64. 肺犬糸状虫症の1例

A case of pulmonary dirofilariasis

(旭中央病院外科)

吉田 純司・登 政和